

県森林審「貴重種配慮を」

素野の豊園許可答申 異例の付帯事項

素野市の大磯丘陵に計画される大磯模範園建設に伴う林地開発を巡り、県森林審議会(会長・宮林茂幸東京農業大教授)は13日、県に開発許可を答申することを決めた。計画地は動植物の宝庫なため一部委員から自然環境の破壊を懸念する意見も出され、答申に「貴重種に配慮した生物多様性の環境保全に努め

る」との付帯事項を盛り込むこととした。県内の林地開発で付帯事項が添えられるのは極めて異例という。

計画地は園蝶オオムラサキなどが生息する。申請について県は「林地開発の4条件(災害防止、水害防止、水害防止、水害防止)を確保、環境保全)を満たしている」との意見を付けて森林審議会に諮問した。

豊園の事業主体は公益財団法人・相模メモリアルパーク(愛川町)。丘陵西端の八高見山(319m)南面区域約19・8haを開発して豊園を整備する計画で昨年、県に林地開発許可を申請した。

計画地は園蝶オオムラサキなどが生息する。申請について県は「林地開発の4条件(災害防止、水害防止、水害防止、水害防止)を確保、環境保全)を満たしている」との意見を付けて森林審議会に諮問した。

豊園の事業主体は公益財団法人・相模メモリアルパーク(愛川町)。丘陵西端の八高見山(319m)南面区域約19・8haを開発して豊園を整備する計画で昨年、県に林地開発許可を申請した。

園蝶オオムラサキは絶滅危惧種に指定されたものをはじめ、多くの動植物が生息している。

園蝶オオムラサキは絶滅危惧種に指定されたものをはじめ、多くの動植物が生息している。

区域は二宮町から相模湾に注ぐ中村川の源流域。大磯丘陵で最大級のクヌギ、コナラ群生地、環境省や県のレッドリストで絶滅危惧種に指定されたものをはじめ、多くの動植物が生息している。

園蝶オオムラサキは絶滅危惧種に指定されたものをはじめ、多くの動植物が生息している。

【高橋和夫】